

2026 年 8 月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026 年 4 月 13 日

上場取引所 東

上場会社名 フクヤ建設株式会社

コード番号 284A URL <https://fukuya-h.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役 （氏名） 福家 淳也

問合せ先責任者 （役職名） 取締役 （氏名） 治部 泰久 TEL 088-(845)-4618

中間発行者情報提出予定日 2026 年 5 月 29 日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無： 無

中間決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026 年 8 月期中間期の連結業績（2025 年 9 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は対前年同中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026 年 8 月期中間期	1,988	71.3	74	—	100	—	66	—
2025 年 8 月期中間期	1,160	6.5	△0	—	△1	—	0	—

（注）包括利益 2026 年 8 月期中間期 82 百万円（－％） 2025 年 8 月期中間期 △1 百万円（－％）

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026 年 8 月期中間期	330.65	—
2025 年 8 月期中間期	2.11	—

（参考）持分法投資損益 2026 年 8 月期中間期 — 百万円 2025 年 8 月期中間期 △0 百万円

（注）潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026 年 8 月期中間期	3,468	668	19.3	3,341 円 05 銭
2025 年 8 月期	3,126	623	19.9	3,115 円 76 銭

（参考）自己資本 2026 年 8 月期中間期 668 百万円 2025 年 8 月期 573 百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026 年 8 月期中間期	△826	△153	621	552
2025 年 8 月期中間期	△131	△122	121	336

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025 年 8 月期	0.00	185.00	185.00	37	49.58	6.19
2026 年 8 月期	0.00			—	—	—
2026 年 8 月期（予想）	0.00	185.00	185.00		20.65	

3. 2026 年 8 月期の連結業績予想（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
通期	百万円 3,750	％ 30.6%	百万円 166	％ 61.0	百万円 181	％ 110.2	百万円 179	％ 140.1	円 銭 896.04

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（１）当中間期における重要な連結範囲の変更：有
新規 1 社 株式会社鳳建築設計事務所

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026 年 8 月期中間期	200,000株	2025 年 8 月期	200,000株
② 期末自己株式数	2026 年 8 月期中間期	-株	2025 年 8 月期	-株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026 年 8 月期中間期	200,000株	2025 年 8 月期中間期	200,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善がみられたものの、資材価格の高止まりや人手不足が続く、建設業界を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続きました。住宅市場では、金利動向や建築コスト上昇の影響を受けつつも一定の需要が維持され、省エネ住宅やリフォーム需要が堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは大口民間工事に加え、主力である注文住宅事業およびリノベーション事業の受注が堅調に推移し、収益を拡大することができました。

当社グループは引き続き、住宅品質の向上、顧客満足度の強化、施工体制の安定化を重点課題として取り組み、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は 1,988,230 千円（前年同期比 71.3%増）、営業利益は 74,749 千円（前年同期は営業損失 349 千円）、経常利益は 100,192 千円（前年同期は経常損失 1,135 千円）、親会社株主に帰属する中間純利益は 66,130 千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益 421 千円）となりました。

セグメント別の概略は以下のとおりです。

<建築工事業>

建築工事業におきましては、大口民間工事に加え、当社の中核である注文住宅事業およびリノベーション事業の受注が堅調に推移いたしました。加えて、2025年9月に株式会社鳳建築設計事務所をグループ会社として迎え入れたことにより事業領域が拡大し、当中間連結会計期間のセグメント売上高は 1,667,684 千円（前年同期比 88.7%増）、セグメント利益は 185,939 千円（同 81.7%増）となりました。

<建材卸売事業>

建材卸売事業におきましては、少子高齢化による人口減少の影響を受けて新築住宅着工件数が減少している中、当中間連結会計期間のセグメント売上高は 170,221 千円（前年同期比 15.2%減）、セグメント利益は 4,445 千円（前年同期はセグメント損失 791 千円）となりました。

<不動産事業>

不動産事業におきましては、販売用不動産である建売物件の販売が順調に推移し、当連結会計年度のセグメント売上高は 128,335 千円（前年同期比 143.5%増）、セグメント利益は 10,313 千円（同 2.8%減）となりました。

<飲食事業>

飲食事業におきましては、2026年8月期に3店舗中の1店舗を閉店したことから、当連結会計年度のセグメント売上高は 17,147 千円（前年同期比 23.7%減）、セグメント損失は 3,051 千円（前年同期はセグメント損失 908 千円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、以下のとおりです。

（資産の部）

当中間連結会計期間末における流動資産は 1,581,234 千円となり、前連結会計年度末に比べ 117,076 千円増加しました。これは主に、完成工事未収入金が 383,231 千円、販売用不動産が 52,010 千円増加した一方で、現金及び預金が 358,756 千円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,886,858 千円となり、前連結会計年度末に比べ 224,382 千円増加しました。これは主に、土地が 82,421 千円、投資有価証券が 80,460 千円、建物及び構築物が 52,773 千円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は、3,468,092 千円となり、前連結会計年度末に比べ 341,459 千円増加しました。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における流動負債は 1,158,225 千円となり、前連結会計年度末に比べ 143,918 千円減少しました。これは主に、未成工事受入金が 453,923 千円、一年内償還予定の社債が 50,000 千円減少した一方で、短期借入金が 354,000 千円増加したこと等によるものです。固定負債は 1,641,657 千円となり、前連結会計年度末に比べ 440,320 千円増加しました。これは主に、長期借入金が 377,227 千円、社債が 27,000 千円、繰延税金負債が 31,775 千円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、2,799,883 千円となり、前連結会計年度末に比べ 296,402 千円増加しました。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産合計は 668,209 千円となり、前連結会計年度末に比べ 45,057 千円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益を 66,130 千円計上したことと、配当金の支払 37,000 千円、有価証券評価差額金 15,926 千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は 19.3%（前連結会計年度末は 19.9%）となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、552,751 千円(前年同期は 336,110 千円)となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は 826,759 千円(前年同期は 131,157 千円の使用)となりました。これは主に、売上債権の増加額 413,102 千円、未成工事受入金の減少額 453,923 円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 153,386 千円(前年同期は 122,875 千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 67,903 千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 78,552 千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は 621,389 千円(前年同期は 121,632 千円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額 354,000 千円、長期借入れによる収入 418,200 千円、長期借入金の返済による支出 88,841 千円、社債の償還による支出 53,000 千円、配当金の支払額 37,000 千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界を取り巻く環境は、建築資材の価格高騰に伴う販売物件価格の上昇や住宅ローン金利の上昇などにより、住宅需要は底堅いものの、売上・利益ともに厳しい状況が続くと見込まれます。しかし、当社グループでは、注文住宅・規格住宅・リノベーションを中心とした住宅建築事業を展開するとともに、不動産の売買・仲介・管理、飲食・ライフスタイル関連事業まで幅広く手掛ける総合建設会社であり、設計・施工・不動産を一貫して提供できる体制に加え、デザイン性及び提案力を強みとし、地域に根差した安定的な事業基盤を構築しております。

今後は大量供給や効率化を優先する大手住宅会社とは一線を画し、非常に手間のかかる領域ではありますが、一棟一棟に丁寧に向き合う家づくりを重視する工務店・建築会社の価値を M & A を通じて全国へ広げていくことを中長期的な成長戦略として掲げております。

なお、2026 年 8 月期の業績予想につきましては、2025 年 10 月 15 日の「2025 年 8 月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025 年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2026 年 2 月 28 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	911,507	552,751
受取手形	12,119	17,662
完成工事未収入金	43,994	427,225
売掛金	49,655	97,123
未成工事支出金	17,820	19,006
商品	25,106	24,315
原材料及び貯蔵品	53,449	53,973
販売用不動産	313,766	365,776
仕掛販売用不動産	19,682	—
未収還付法人税等	—	5,941
その他	17,906	20,619
貸倒引当金	△852	△ 3,161
流動資産合計	1,464,157	1,581,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	704,739	757,512
機械装置及び運搬具（純額）	14,679	13,730
工具、器具及び備品（純額）	8,258	12,473
リース資産（純額）	9,583	7,784
土地	736,453	818,875
建設仮勘定	35,837	11,684
有形固定資産合計	1,509,551	1,622,061
無形固定資産		
のれん	—	35,415
その他	5,793	5,010
無形固定資産合計	5,793	40,426
投資その他の資産		
投資有価証券	41,645	122,106
長期前払費用	17,592	24,911
繰延税金資産	19,540	3,109
その他	75,637	81,528
貸倒引当金	△ 7,285	△ 7,285
投資その他の資産合計	147,130	224,371
固定資産合計	1,662,475	1,886,858
資産合計	3,126,633	3,468,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025 年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2026 年 2 月 28 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	232,898	239,861
電子記録債務	72,703	70,857
短期借入金	125,000	479,000
1 年内償還予定の社債	56,000	6,000
1 年内返済予定の長期借入金	135,176	178,640
未払金	70,013	48,169
リース債務	3,659	3,401
未成工事受入金	518,114	64,191
未払法人税等	22,873	1,224
賞与引当金	28,488	19,821
その他	37,216	47,057
流動負債合計	1,302,143	1,158,225
固定負債		
社債	3,000	30,000
長期借入金	1,122,460	1,499,687
リース債務	6,728	5,304
長期預り敷金	2,993	2,993
退職給付に係る負債	5,056	5,497
役員退職慰労引当金	61,100	66,400
繰延税金負債	—	31,775
固定負債合計	1,201,337	1,641,657
負債合計	2,503,481	2,799,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金	603,773	632,904
株主資本合計	623,773	652,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△621	15,305
その他の包括利益累計額合計	△621	15,305
純資産合計	623,152	668,209
負債純資産合計	3,126,633	3,468,092

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日)	当中間連結会計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日)
売上高	1,160,865	1,988,230
売上原価	891,976	1,599,733
売上総利益	268,889	388,496
販売費及び一般管理費	269,238	313,746
営業利益又は営業損失 (△)	△349	74,749
営業外収益		
受取利息	199	909
受取配当金	1,000	4,266
受取手数料	410	789
受取保険金	1,944	24,900
その他	2,949	3,449
営業外収益合計	6,504	34,315
営業外費用		
支払利息	5,632	8,258
持分法による投資損失	310	—
その他	1,347	614
営業外費用合計	7,291	8,872
経常利益又は経常損失 (△)	△1,135	100,192
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	△1,135	100,192
法人税、住民税及び事業税	654	1,938
法人税等調整額	△2,212	32,123
法人税等合計	△1,557	34,061
中間純利益	421	66,130
親会社株主に帰属する中間純利益	421	66,130

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日）	当中間連結会計期間 （自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日）
中間純利益	421	66,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,552	15,926
その他の包括利益合計	△1,552	15,926
中間包括利益	△1,130	82,057
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,130	82,057

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日)	当中間連結会計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失 (△)	△1,135	100,192
減価償却費	30,626	26,215
のれん償却額	—	3,219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	562	2,309
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,225	△10,593
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	359	441
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,500	5,300
受取利息及び受取配当金	△1,200	△5,175
支払利息	5,632	8,258
受取保険金	△1,944	△24,900
持分法による投資損失	310	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△48,553	△413,102
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24,193	△30,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,223	△3,864
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,002	△453,923
未払又は未収消費税等の増減額	△29,140	2,086
その他	△11,012	△25,248
小計	△108,633	△818,830
利息及び配当金の受取額	1,200	5,175
利息の支払額	△5,632	△8,258
保険金の受取額	1,944	24,900
法人税等の支払額	△20,036	△29,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,157	△826,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△121,907	△67,903
投資有価証券の取得による支出	△3,809	△6,294
保険積立金の積立による支出	△149	△179
保険積立金の解約による収入	—	1,450
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△78,552
その他	2,989	△1,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,875	△153,386

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日)	当中間連結会計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	354,000
長期借入れによる収入	120,000	418,200
長期借入金の返済による支出	△69,367	△88,841
社債の発行による収入	—	29,712
社債の償還による支出	△3,000	△53,000
リース債務の返済による支出	△1,999	△1,681
配当金の支払額	△24,000	△37,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,632	621,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132,400	△358,756
現金及び現金同等物の期首残高	468,511	911,507
現金及び現金同等物の期末残高	336,110	552,751

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報）

前中間連結会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	建築工事 事業	建材卸売 事業	不動産 事業	飲食 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	50,702	200,682	41,996	22,463	315,845	2,192	318,037	—	318,037
一定の期間に渡り移転される財又はサービス	832,417	—	—	—	832,417	—	832,417	—	832,417
顧客との契約から生じる収益	883,119	200,682	41,996	22,463	1,148,262	2,192	1,150,454	—	1,150,454
その他の収益	—	—	10,410	—	10,410	—	10,410	—	10,410
売上高									
外部顧客への売上高	883,119	200,682	52,407	22,463	1,158,673	2,192	1,160,865	—	1,160,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	467	—	300	—	767	3,813	4,580	△4,580	—
計	883,587	200,682	52,707	22,463	1,159,440	6,005	1,165,445	△4,590	1,160,865
セグメント利益又は損失（△）	102,330	△791	10,608	△908	111,239	△673	110,565	△110,915	△349

（注） １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、簡易宿所事業等を含んでおります。

２．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額△110,915千円には、セグメント間取引消去6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,921千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結財務諸表の営業損失と調整しております。

当中間連結会計期間（自 2025 年 9 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	建築工事 事業	建材卸売 事業	不動産 事業	飲食 事業	計				
売上高									
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	167,373	170,221	117,629	17,147	472,371	5,140	477,512	—	477,512
一定の期間に渡 り移転される財 又はサービス	1,500,311	—	—	—	1,500,311	—	1,500,311	—	1,500,311
顧客との契約か ら生じる収益	1,667,684	170,221	117,629	17,147	1,972,683	5,140	1,977,823	—	1,977,823
その他の収益	—	—	10,406	—	10,406	—	10,406	—	10,406
売上高									
外部顧客への 売上高	1,667,684	170,221	128,035	17,147	1,983,089	5,140	1,988,230	—	1,988,230
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	300	—	300	3,579	3,879	△3,879	—
計	1,667,684	170,221	128,335	17,147	1,983,389	8,720	1,992,109	△3,879	1,988,230
セグメント利益 又は損失 (△)	185,939	4,445	10,313	△3,051	197,648	3,275	200,923	△126,173	74,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、簡易宿所事業等を含んでおりま
す。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失 (△) の調整額△126,173 千円には、セグメント間取引消去 196 千円、各報告セグメ
ントに配分していない全社費用△126,369 千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、中間連結財務諸表の営業利益と調整しております。